

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	信頼性向上を持続する e テスティング・プラットフォームの開発
研究代表者	植野 真臣 (電気通信大学・大学院情報理工学研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、e テスティング及びパフォーマンステストの運用上の問題点である、e テスティングの経年的な測定誤差の増加、パフォーマンステストにおける評価者特性における測定誤差を抑制するアルゴリズムや手法を考案し、安定的な運用が可能になるプラットフォームを開発することを目標としている。</p> <p>e テスティングやパフォーマンステストは、現在様々な資格試験等で実施されている。異なるテストを受けても同一の尺度で評価が行われるためには、本研究で挙げた運用上の問題点の解決が重要な課題であることから、本研究の社会的有用性は高く、その裏付けとなる理論的な研究成果が期待される。</p>